

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

テトラクロロエチレンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する延長毒性試験－21日間

試験番号

5 B 4 6 1 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 204 「魚類延長毒性試験－14日間」(1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： テトラクロロエチレン
- 2) 暴露方式： 流水式 (定量ポンプを用いる連続希釈装置を使用)
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度 (設定値)： 対照区, 助剤対照区, 0.15, 0.37, 0.95, 2.44, 6.11
および15.27mg/L (公比: 2.5)
助剤最高濃度: 99.3mg/L, 2-メトキシエタノールおよびHCO-30使用, 助剤濃度一定
- 6) 試験液量: 35L/日 (24.55mL/min, 5.0L容ガラスビーカー使用)
- 7) 連数: 1容器/濃度区
- 8) 供試生物数: 20尾/濃度区
- 9) 照明: 16時間明/8時間暗
- 10) 試験温度: 24±1℃
- 11) 試験液の分析: GC法

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度: 試験区で設定濃度の±20%を越える分析結果があったため, 以下の値は測定濃度の算術平均値を基に示した。
- 2) 7日間の半数致死濃度 (LC50): 7.2mg/L (95%信頼区間: 5.8mg/L～9.1mg/L)
- 3) 14日間の半数致死濃度 (LC50): 6.6mg/L (95%信頼区間: 4.7mg/L～12mg/L)
- 4) 21日間の半数致死濃度 (LC50): 6.4mg/L (95%信頼区間: 4.7mg/L～12mg/L)
- 5) 21日間の最小致死濃度: 4.7mg/L

6) 21日間の最小作用濃度： 4.7mg/L

7) 21日間の最大無作用濃度 (NOEC)： 1.9mg/L